

check 区役所の食堂がなくなりました

3月末で区役所10階の食堂が閉鎖となりました。実は、現在の区役所が建っているのは国が持っている土地で、区は国に毎年賃料を支払っています(今年度は約6100万円)。建物は、国の機関と合同で15年前に民間の力を活用して「建物を建てる」というやり方で建てられました。



食堂もコンビニも閉鎖

今年の3月で15年間の契約期間が終了しました。国の機関と同じ建物を共有しているためにたくさんの制限があり、契約手続きも複雑なためにこれまで通りに10階の食堂を続けることができなくなったそうです。

今まで、区役所の食堂は、区民も使えますが、基本的には「区と国の職員食堂」でした。国は、国の職員のための食堂を続けたいことに決めたので、区は食堂を続けるためには国に重ねてその分の家賃を支払わなくてはなりません。これが予想以上の金額となることから、目下のところいろいろな人と相談しながらやり方を検討しています。新しい食堂がオープンするまでは、IFでお弁当を販売しています。

コストは今までよりかかってしまっていますが、もし区が食堂を直接運営するのであれば、地域のお店とのコラボレーションや子ども食堂など様々なこともできるようになるかもしれません。

もっと詳しく

現行行合は国と自治体が合築してPFI(Private-Finance-Initiative=民間企業との協働で公共施設的设计・管理・運営を行う事業)を活用した全国初の事例として注目されました。PFI契約はコストの面など、メリットも多くありますが、使い勝手の面など問題も多く、なにより契約終了後の通常管理への移行がスムーズではなかったことは大きな課題であると思います。千代田区では、富士見小学校もPFIを活用して建てられているので、こちらの契約終了時も見据えて専門家を入れての対応を要望しています。

ご意見お待ちしております

- *携帯メールはこちら
yapparihayanehayaoki@softbank.ne.jp
- *PCメールはこちら
ryokoias@gmail.com
- *お手紙はこちら
〒102-8688
東京都千代田区九段南1-2-1
千代田区役所 7F
- *お電話はこちら
Tel: 080-3150-2090
- *ファックスはこちら
Fax: 03-3263-9255

岩佐りょう子プロフィール 立憲政策フォーラム



千代田区議会議員現在3期目
所属委員会
議会運営委員会、保健福祉委員会(副委員長)
景観・まちづくり特別委員会、オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
LGBT自治体議員連盟、手話推進議員連盟所属

岩佐りょう子は学生の職場体験やインターンを受け入れています。日数などは応相談です。ご興味のある方はご連絡ください。

小学生から読める! 忙しい朝でも読める!

千代田区議会議員 岩佐りょう子の



かんたん区政報告

この区政レポートは、小学校高学年から読めるように、わかりやすく書いてあります。

- *新区長就任! 気になる予算と教育長が決定しました
- *なぜなくなった? 区役所10階の食堂
- *ワクチン接種・PCR検査費用の助成がはじまります

check 新しい区長のもと、4月からの予算が決まりました

今年1月に新しい区長が選挙で当選しました。新しい区長の樋口たかあき氏は38歳という若さで東京都では最年少の区長です。千代田区で区長が交代したのは20年ぶりのことです。新しい区長の最初の大仕事は新年度の予算を議会に提案し、決めることでした。



樋口区長。趣味は茶道

区役所が仕事をするためには予算が必要です。その予算を決めるためには、前の年の夏頃から半年以上の時間をかけて多くの人の意見を聞き、さまざまな検討が行われています。

樋口区長が就任した2月には、前の区長の元で作られてきた予算の案はほとんど出来上がっていました。樋口区長はこの案を確認し、これに自分が選挙のときに公約としていた、「コロナウィルスにかかる重症化しやすい人たちへのPCR検査」と「新型コロナワクチン接種のため」の予算を追加して議会に提案し、議会が話し合っただけで決定しました。

また、教育委員会の代表である教育長も決まりました。実は千代田区は昨年10月から教育長がいなかった状態が続いていました。教育長は区長が提案(指名)し、議会が承認して決まることになっていますが、昨年は石川区長(当時)が議会のいきなり解散宣言したことなどもあり、区長と議会の仲は大変険悪でした。

そのためか、10月に前教育長の任期が切れても、議会へ教育長候補の提案はなされなかったのです。コロナ禍で半年近くも教育長がいなかったのは、大変残念なことです。

新しい教育長は、千代田区の小学校の卒業生で、長他の自治体の学校での校長や大学の先生を経験してきた、剣道六段で文武両道な方です。

令和3年度の予算、ざっくり解説します

新区長のもとに決定した新しい予算は合計764億7,286万円、区民一人当たり95.1万円となっています。

子ども費に予算の29.1%と一番多く使う予定で、子ども一人あたりの予算額は104万6千円、学校にかかっているお金は東京23区でトップです。

また、区には「基金」と呼ばれる貯金があります。全体の貯金（財政調整基金）と、災害対策や環境対策など目的を決めた貯金（特定目的基金）があり、昨年はこの基金からコロナ対策費用を出しました。貯金（基金）の総額は1,037億3,300万円です。

PCR検査助成予算 ▶ 5億2千万円

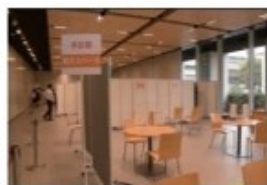
高齢者や病気を抱えている人がコロナウイルス感染症にかかるリスクが、安心して活動するために一人一回2万円までのPCR検査費用3回分を区が負担します。高齢者や病気を抱えている人と同居している人も受けることができます。（令和3年4月1日～9月30日）

病院で検査を受けて支払いをしたあと、領収書を添付して区に申請すれば検査費用が返金されます。申請書は、区役所3階や各出張所で配布のほか、区のホームページからダウンロードすることもできます。

お問い合わせ 千代田区役所福祉総務課福祉総務係 ☎ 03-5211-4355

ワクチン接種予算 ▶ 6億5千万円

ワクチンは5月10日に75歳以上の方へ、5月19日に65歳～74歳の方へ接種券が発送され5月24日（75歳以上）から接種が始まる予定です。



接種会場は、区役所1階区民ホール（九段南1-2-1）、万世橋区民館（外神田1-1-13）、いきいきプラザ一番町（一番町12）、岩本町ほほえみプラザ（岩本町2-15-3）、THE BANCHO（二番町7-6）などが予定されています。

区は、安心して全員がワクチンをスムーズに受けることができるよう、医師会・薬剤師会と協力しながらシミュレーションもして、万全の体制を整えています。

お問い合わせ 千代田区ワクチンコールセンター ☎ 03-5211-4114

（平日9時～17時）

東郷元帥記念公園の工事費用 ▶ 10億7千4百万円

長く工事が止まっていた東郷元帥記念公園の工事が再開しています。

東郷元帥記念公園は、工事中に土が鉛で汚染していたことがわかり、汚染した土を取り除く間に公園のデザインについて協議会で改めて話し合っていました。

公園を改修する場合、地域の方や子ども、まわりのこどもの施設の人など多くの人が意見を出し合っていていくのですが、東郷元帥記念公園では広場の広さと木の

種類についてたくさんの意見が出て話し合いが長引いていた上、コロナ禍で話し合いの場そのものも持つことができなくなり、工事も中止していました。

最終的に、さらに多くの人の意見を聞きながらデザイン変更することが決まり、工事が再開することになりました。今年12月に下段のエリアがオープンする予定です。

当初予定していた予算は7億1千万円程度でしたが、工事が止まっていた期間や汚染していた土を取り除く費用などで10億7千4百万円かかることになりました。



医療機関への支援 ▶ 4億9千万円

災害時にけがした人を受け入れてくれる病院が、コロナウイルス対策で逼迫しないように区が独自に補助金を出しています。医療機関への支援は、このコロナ禍で全国的に必要だと言われていますが、自治体が独自でここまで出しているところは、なかなかないと思います。災害時に重要な拠点となる大きな病院の他、地域の診療所や薬局、歯科医院にも支援が行われます。

支援を行うのは2回目で、昨年6億5千万円の予算を使っています。

麹町中学校のエアコン設置予算 ▶ 4千万円

麹町中学校のエアコン設置のための予算がつきました。週末や連休中に設置工事をし、6月から使えるようになる予定です。また、九段中等教育学校のエアコンも改修する予定です。

